



# 新年にあたって

新年明けましておめでとうございます。います。

町会の皆様方には新しい年を迎えられ、夢のある抱負を立てられたことと存じます。また、新成人となられる方には新たな門出に心からお祝いを申し上げます。

さて、昨年度は町会全体として、も永らく待ち望んでいた地下鉄十一号線の開通記念もあり、明るい兆しが見えたのですが、日本経済がなかなか思ったように回復には向かわず、まだ暫くは我慢の感じます。

本年も町会の皆さまと一緒に明るい元気な町を目指して行きたいものです。

町会副会長始め役員一同頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

- 押上一丁目仲町会会長 細川勝也
- 副会長 高橋邦夫
- 同 沖山泰則
- 同 五月女稔
- 同 並木行雄
- 他 役員一同

## 押上一丁目仲町会広報部

第十九号

編集責任者 五月女 稔

平成十六年一月二十一日



### 【福利厚生部】

本年平成十六年は一人の方が押上一丁目仲町会の新成人になりました。おめでとうございます。

さて、福利厚生部の活動も年間を通じて、敬老の日のお祝いと成人の日のお祝いが主な活動です。

そしてもう一つが町会旅行ですが、「おい、もう三年も行ってないぞー」という声もありますが、町会員の方にできるだけ負担をかけずに楽しい旅行をしたいと考え、本年度予算を来年度に繰越、年度明け早々の五月過ぎ、季節のよくなるころに計画しようと思っております。皆様からのご希望などありましたら、福利厚生部のほうまでとじしお寄せください。

### 【O S T】

初春をお喜び申し上げます。O S T会員の皆様今年も明るく前向きに暮らしましょう。寒い季節でも家に引き籠らず日向で井戸端会議に花を咲かせるのもボケ防止の秘訣です。今年もいろいろな行事を行いたいと思っています。皆様奮って御参加下さいませ様お願い致します。

十五年十一月五日(水)

墨老連主催「歩け歩け皇居東御苑」へ十五名参加、和田倉門の噴水公園の脇の広場に集合、東御苑の美しい日本庭園を通り、北の丸公園の広々とした所でシートを敷き昼食、九段下より乗車押上着二時。



皇居東御苑集合写真

十一月二十三日(日)

十一月生まれの方の誕生日会。いつもと同じように楽しく過ごしました。

十一月二十七日(木)

青梅・御岳山方面へ日帰りバスツアーを行い十九名参加。押上七時三十分出発、多摩の昭和天皇、香淳皇后、大正天皇、貞明皇后の御陵を参拝静寂の中にピンとした空気の漂う美しい紅葉の陵内でした。

みささぎの玉砂利ふみて神前に在りしお姿 偲びうかべて美しく赤黄朱色と 色づいて水面に映ゆる 紅葉一つ葉 (素人の愚作です)

青梅の沢の井、わっぱ屋蔵亭で昼食、御岳溪谷の紅葉と美しい水の流れを堪能しました。時間が余ったので奥多摩湖迄行ってくれました。予約しておいたお土産物屋さんで不参加の会員の皆様にお土産物を買って七時十分押上着。

十二月十四日(日) O S T忘年会。二十七名参加。町会長も参加して下さいました。何時もながらピンゴはワーワー、キャーキャー、皆真心にかえり楽しいひとときでした。

### 【婦人会】

新年あけましておめでとうございます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。旧年中は、廃品回収等の事業に皆様にはご協力を戴きありがとうございました。

毎年恒例の新年会を一月十八日(日)に押上一丁目の季節料理「永藤」で開催しました。当日は三十名の参加者で、新年賀詞交歓会をやりながら又、ビンゴゲーム大会では「超」豪華な景品もありました。おいしい料理も食べ、大変和やかな楽しい時間を過ごすことが出来ました。

婦人会恒例の日帰り旅行を四月か五月頃に計画しています。行き先希望等がありましたら、婦人会の役員まで是非ご連絡ください。多数のご参加のほどお願いいたします。

### 【地域安全運動部】

年末防犯防火夜警が十二月二十五日から二十九日の午後九時から十一時まで実施されました。当町会が住みよい

明るい町であるようにと願いつつ、穏やかなうちに毎日二回ずつのパトロールを行いました。

最近放火だの引つたくりなどよく聞く物騒な世の中です。何事もなく暮れを過ごすことが出来てホッとしています。これも役員の皆様方のご協力と町会の皆さまのご尽力のおかげと感謝いたします。ご協力ありがとうございました。

また、町会の石井浩様には毎年金一封をいただき厚くお礼申し上げます。

### 【しらとり子供会】

明けまして、おめでとうございます。昨年は、子供達のためにいろいろとお心遣いいただきありがとうございました。

子供達は怪我もなく毎日元気に登校しています。他の町会にくらべて人数は少ないですが、とても明るく元気な子供達と、楽しくパワフルなお父さん、お母さん達です。

子供達とともに、町会のいろいろな行事に参加していきたいと思っています。

今年も、しらとり子供会を、よろしくお願致します。



# 「一八会」から「新吹会」へ

あらぶきかい  
沖山泰則

「町内の皆様には未だお知らせしていませんでしたが、とん汁会」行事で皆様に親しまれてきました「一八会」という名称を昨年「新吹会」と改称させて頂きました。

十年余り、私達旧一八会は、「とん汁会」を最も主要な行事として会を運営して参りました。行事終了後、皆様に楽しみ喜んで頂けたという充実感、爽快感それらは私達にとっては大変に得難い経験となったのです。しかしながら、会も十年余を重ねますと会への意識も少しずつ変化してきたのです。特にここ数年会員の間に、会費の殆どを費やす「とん汁会」の経費を会としての娯楽や、旅行の費用に充てたらどうかという意識が盛り上がってきたのです。

そして昨年数回の検討会を開きました。その結果全員の総意をもって会の名称の改称と、「とん汁会」の一時中止を決定したのです。「新吹会」となりましたが、私達もまだこの名称に充分には馴染んでいません。

これからは自分達のための会であると同時に旧一八会と同様に皆様に親しんで頂くために、「とん汁会」は無難なこと新しい企画をいろいろ考えて「町内の皆様と交流させて頂きたいと思いません。

新生「新吹会」を今後ともよろしくお願ひ申し上げます。  
この会は町内の有志の集まりです。会員の会費によって自主的に運営されています。町会の属部ではありません。

# 四 国

石田輝雄

列島直結 瀬戸大橋今朝開通

本州と四国を結ぶ大橋は今朝開通、道路鉄道とも列島は一つにつながる。昭和六十三年四月十日付新聞一面の書き出しである。

四国へ行ってみよう。家内との話題は即四国旅行のあれやこれやに早替わり。五月下旬に出かける事とする。岡山迄は四時間余り。姫路から先の新幹線は私達にとって初めての鉄路だ。

相生を過ぎてやがて岡山駅のホームへ特急「うずしお七号」に乗り換える。四輪の連結、先頭車に乗る（宇野線本四備讃線）。兒島に停車後、愈々瀬戸大橋を渡る事になる。車内放送の車掌さんの声も張り切つて聞こえる。眼下には内海を通る大小の船舶、四国特有の可愛い山々も遠望、轟音と共に大橋を通過する。

到頭四国へ来たのだ。何となく感激、四国に渡つて初めての駅が坂出、大橋の開通迄兒島、坂出とも馴染み深い地名だ。

高松を過ぎ栗林で下車する。四国の土を此の処で初めて踏んだ事になる。数分歩いて有名な栗林公園を見物する事とする。土産物店に荷物を預かってもらう。気持ち良く心じてくれてホッとす。栗林公園は誠に見応えのある公園である。高松藩主・松平家の下屋敷跡で、時の造園術の最高峰たる遠州流の粋を集めて造られたものの由で、数多い見事な枝振りの老松が目を見張る。園内は起伏あり池あり飽きる事がない。園内一巡堪能してから茶店花園亭に腰を下しビールを一杯、名物本場の讃岐うどんを注文する。うまい。訪れる人

も多く賑やかである。土産物店に礼を述べタクシーを呼んでもらう。

之から今日の泊地讃岐津田町まで彼方此方の見物を楽しみ乍ら巡る手順とする。先ず屋島へ向かう。屋島は標高二九三メートルの事だが山の上がグラウンドの様になっている。なんと行っても瀬戸内海の展望が最高。源平の古戦場たる壇の浦で車を止め運転手さんの説明に耳を傾ける。次いで屋島寺へ。平家供養のお寺とが、堂々とした山門、朱塗りの本堂、四国八十四番札所とある。

志度町に入り平賀源内先生の旧邸に着ける。邸内の見学 奥の庭は菓草園になっている。源内先生については菓草の事で覚えていたが、弱電関係にも秀でていた由、私の浅学露呈と言つところ。多才多技の万能的な天才ぶりを發揮して日本の夜明けを演出した人の事だが、封建的な壁に遮られて世に迎へられなかった。

この旧邸から少し歩いたところに、江戸時代の面影を残す建物がある。『もと屋正油館』とて正油醸造の行程、用具が展示してある。享保年間（一七三〇年頃）建築の建物との事だった。

『先頃この建物は火災により被害とのニュースが伝えられた』

正油館のすぐ先の左側に真覚寺と言つお寺。入口の立札に『岡の松』と記されてある。境内に先ずは見事な大きな老松がある。昔、左近少将重成が『蔭ひろく 栄え栄えて十がえりの花さえとはに古寺の松』

と詠んだと言われる松で天然記念物。高さ八丈、幹の周囲九丈、樹陰面積千二百平方メートルの事で樹勢は今日でも盛んと見た。東京（小岩）の善養寺の『影向の松』が松の東の横綱、西の横綱が

『岡の松』であると。車に戻り志度寺へ向かう。このお寺は推古天皇の頃の創建で、四国八十六番目の名刹と言われ、総檜造りの五重塔は日本で十八番目に建てられたものである。御本尊は十一面観世音菩薩（重文）山門の仁王像は天正十一年春、攻め込んだ長宗我部元親を走らせたと伝えられ、鎌倉時代の運慶の作との由で、これも重文である。暫く走つて津田町に到り、今夜の宿、松琴閣に着けてもらう。

讃岐津田町菅の国民宿舎だが、どうして仲々立派な建物である。部屋の窓から内海が一望、まるで海の中に部屋がある感じ。砂浜はピンク色で綺麗、浪は小さく静かに寄せている。夕食迄は時間もあるので附近を散歩する事にする。浜辺は釣りをする人が二三人静かだ。少し歩くと松葉林に出る。

此の一角は瀬戸内海国立公園であり松にさわぐ潮風が琴の音色に似ているところから琴林公園と名付けられたところか。樹齢六百年と言われる老松五千本を有する松林で津田の松林と呼ばれ誠に見事な一言。一ヶ所所松の苗木を育てている所があったが大切な心くばりだと感心した次第。

松原の外れに道路が走っている道を越した所に岩清水神社がある。立派なお社である。お参りしてから道路沿いに宿へ帰る浪音が静かに耳を撫る。

## 【墨田区からの要請】

大橋祥子

リサイクル清掃課から年末年始の「不法投棄防止」についてのお知らせがありました。年間を通して、くれぐれも不法投棄をしないように、必ずル

ルを守って戴きたく、皆様のご協力をお願いいたします。

## 俳句 冬の句 四席 宇多子

あしきもの 打ち抜ひ膏土 初日の出  
初日の出 森羅万象 輝けり  
ご来光 心静かに 迎えけり  
晴天に 風の厳しさ 寒に入る



陽だまりの鴨

## 【編集後記】

町会とか自治会は不思議な存在です。無関心でも困らないと思つて居る人には、とりあえず関係無いのですから。でも先日放送していた神戸の大震災に関連した番組では、地域の繋がりが支えになって居る事を強調して居ました。町会は決して無駄な存在では無いと思ひます。

いつの間にか春が近づき、梅の蕾みが僅かに膨らみ始めました。花の少ない時期ですが、あと一ヶ月もすると鮮やかな花の季節が始まります。

昨年の秋に発行した広報紙はカラーでしたが、今年はどうしたのか思案中です。読み易いのですが、予算都合もありまして・・・  
いつそ音の出る広報紙！そりゃ無理ですね。